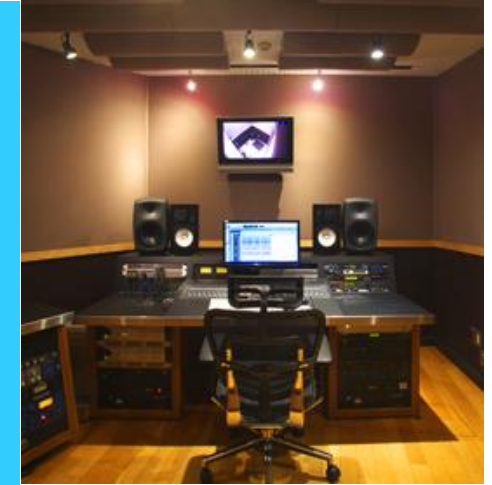




Support The Hospitality

表舞台を輝かせる真のおもてなしを極めて



2019年9月期決算説明会

2019年12月6日 兜町平和ビル
株式会社CSSホールディングス

東証 JASDAQ
証券コード 2304

<https://www.css-holdings.jp/>

2019年9月期決算

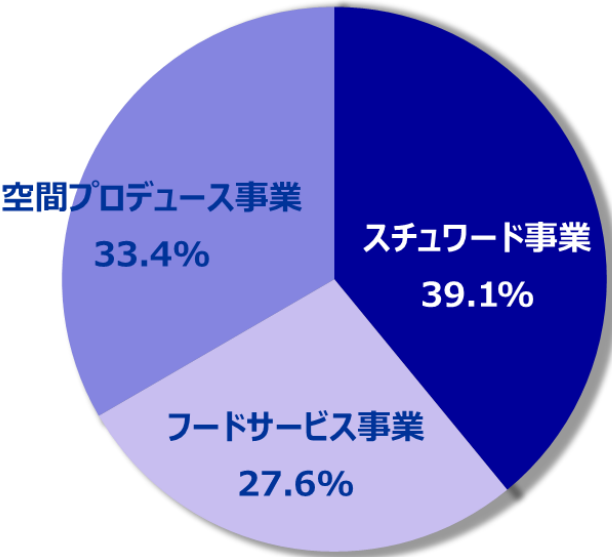
【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番 1 号
【設立】	1984年（昭和59年） 12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	5,285,600株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【連結従業員数】	5,738名（うち、パート・アルバイト 5,217名） （2019年9月30日現在）

連結業績(P/L)

(単位：百万円)	2018年9月期	2019年9月期	差異
売上高	17,326	18,445	1,119
営業利益	253	455	201
経常利益	270	445	174
親会社に帰属する当期純利益	158	▲ 110	▲ 268
1株あたり当期純利益(円)	31.40	▲ 21.81	▲ 53.21

(単位：百万円)	2019年9月期		差 異
	計画値	当 期	
売上高	18,046	18,445	399
営業利益	339	455	116
経常利益	336	445	108
親会社に帰属する当期純利益	▲ 50	▲ 110	▲ 60
1株あたり当期純利益(円)	▲ 9.91	▲ 21.81	▲ 11.90

【セグメント別売上構成比】



 Point

スチュワード事業及び空間プロデュース事業が好調。フードサービス事業が減収となるが、連結では増収、フードサービス事業の損失縮小により、営業利益及び経常利益は増益となる。
ヤマト食品(株)の減損損失及び株式譲渡に伴う株式売却損により当期純損失の計上となった。

連結業績(B/S)

(単位：百万円)	前期末 2018年9月末日現在	当期末 2019年9月末日現在	差 異
資産合計	7,026	5,855	▲ 1,171
流動資産	3,736	3,269	▲ 467
固定資産	3,289	2,585	▲ 704
負債合計	4,197	3,215	▲ 981
流動負債	3,080	2,692	▲ 387
固定負債	1,116	523	▲ 593
純資産合計	2,829	2,639	▲ 189
株主資本	2,697	2,535	▲ 162
評価・換算差額等	131	103	▲ 27
負債・純資産合計	7,026	5,855	▲ 1,171
自己資本比率	40.2%	45.1%	4.9P



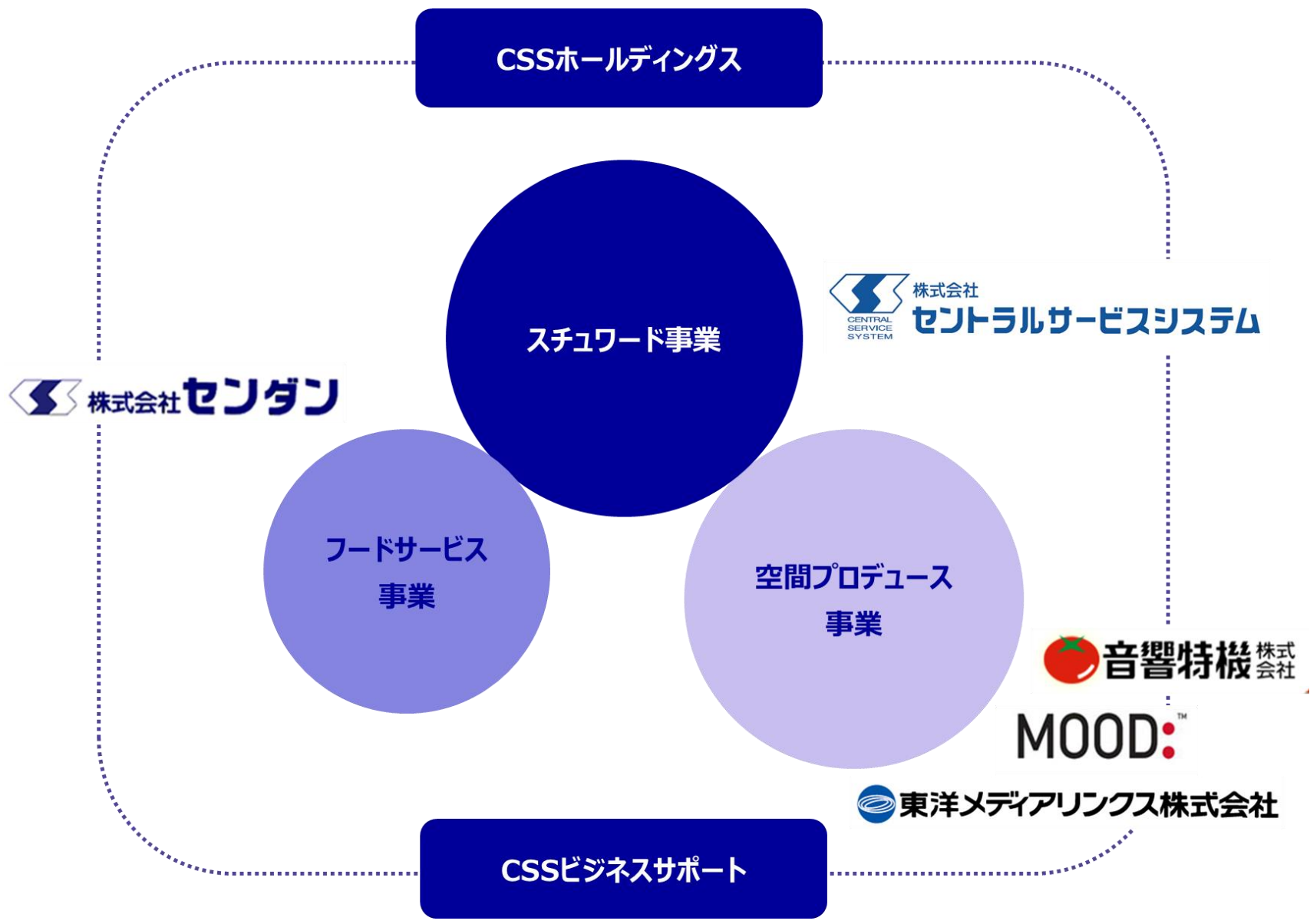
Point

ヤマト食品(株)の株式譲渡に伴い固定資産が減少、負債も借入金の返済により減少した。

純資産については、ヤマト食品(株)に関わる特別損失計上により減少したものの自己資本比率は、45.1%に向上。



(単位：百万円)	2018年9月期 累計期間	2019年9月期 累計期間	差 異
営業キャッシュフロー	345	427	81
投資キャッシュフロー	▲ 200	▲ 74	125
財務キャッシュフロー	▲ 162	▲ 616	▲ 453
現金及び現金同等物の増減額	▲ 17	▲ 263	▲ 245
現金及び現金同等物の期首残高	1,088	1,070	－
現金及び現金同等物の期末残高	1,070	807	▲ 263



【売上高】

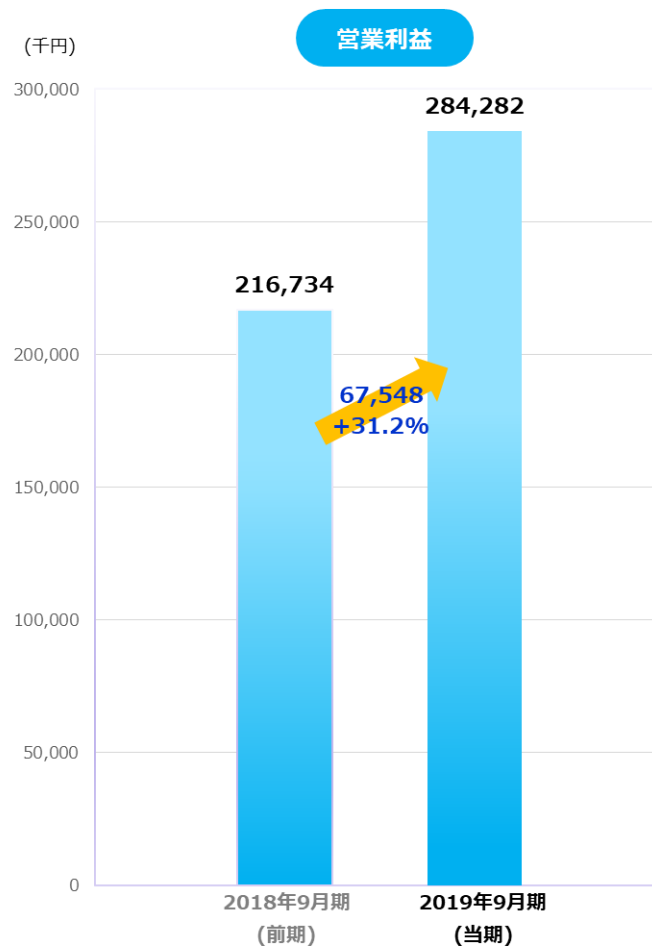
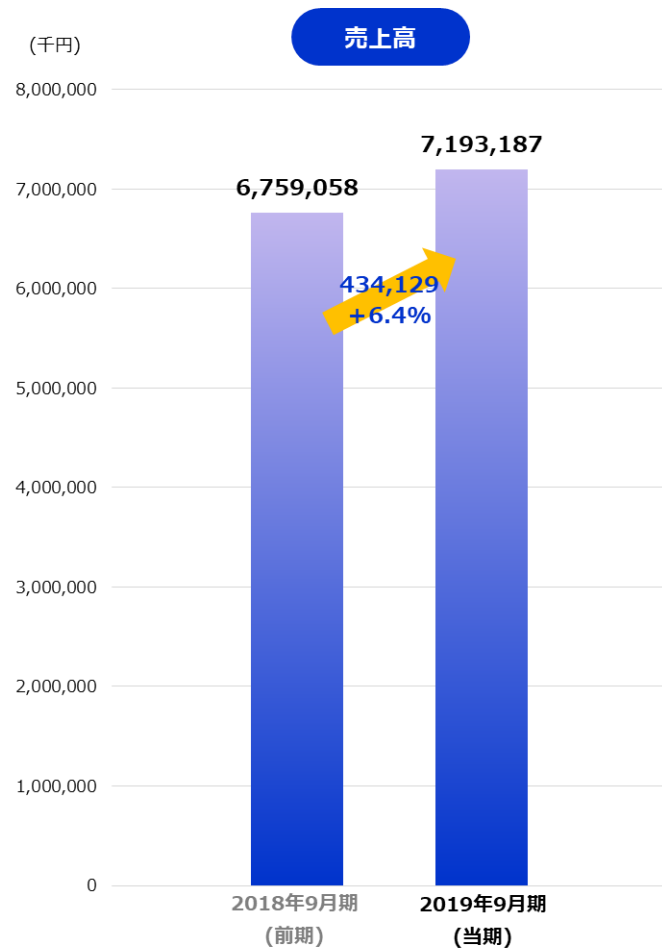
(単位：千円)

	2018年9月期	2019年9月期	増減額	増減率
スチュワード事業	6,759,058	7,193,187	434,129	6.4%
フードサービス事業	5,196,536	5,079,229	▲ 117,307	▲ 2.3%
空間プロデュース事業	5,341,764	6,142,708	800,943	15.0%

【セグメント利益】

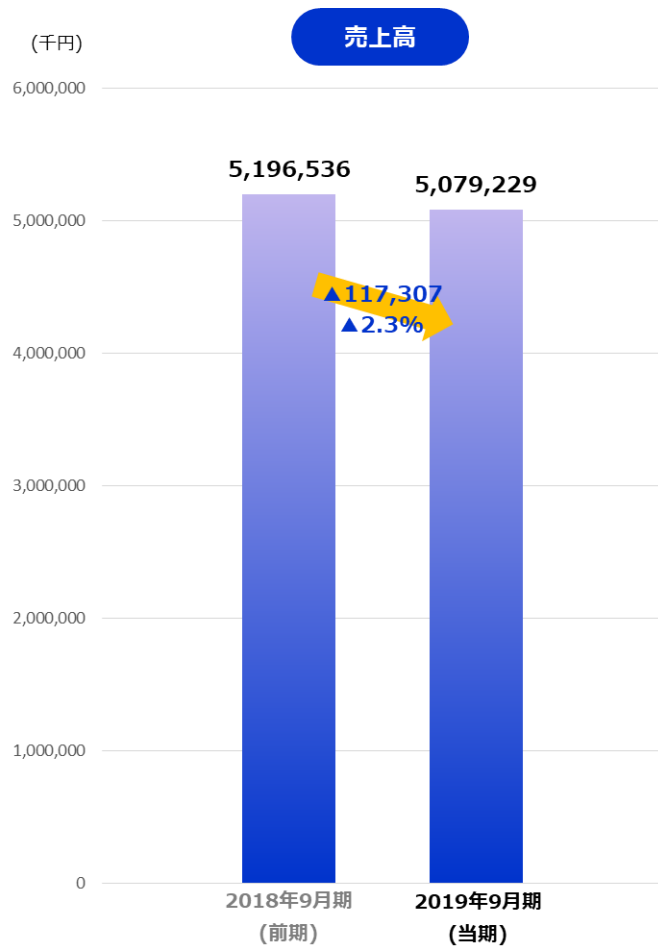
(単位：千円)

	2018年9月期	2019年9月期	増減額	増減率
スチュワード事業	216,734	284,282	67,548	31.2%
フードサービス事業	▲ 38,509	▲ 24,591	13,917	－
空間プロデュース事業	127,986	252,818	124,832	97.5%



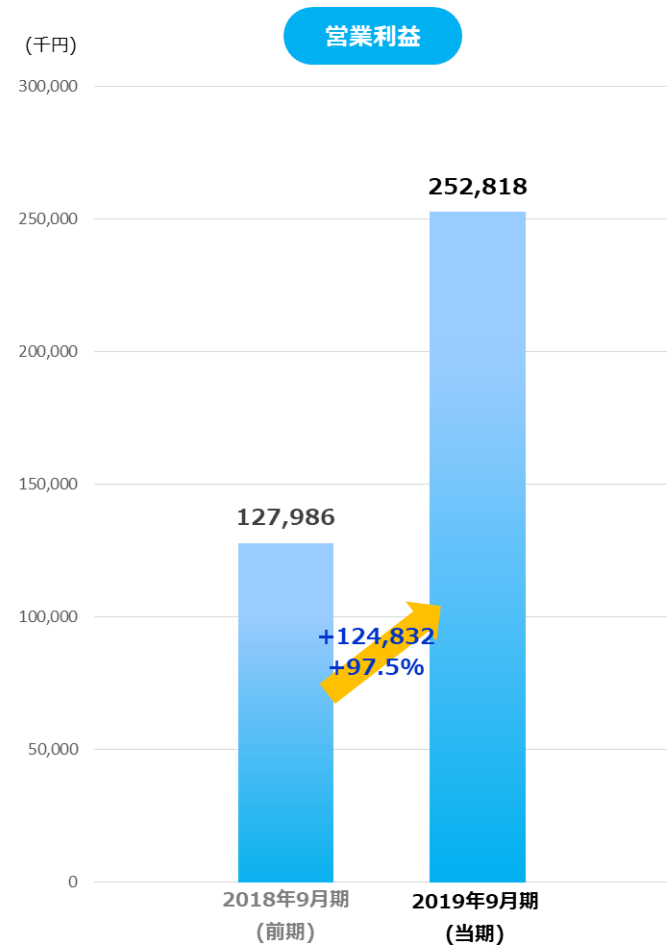
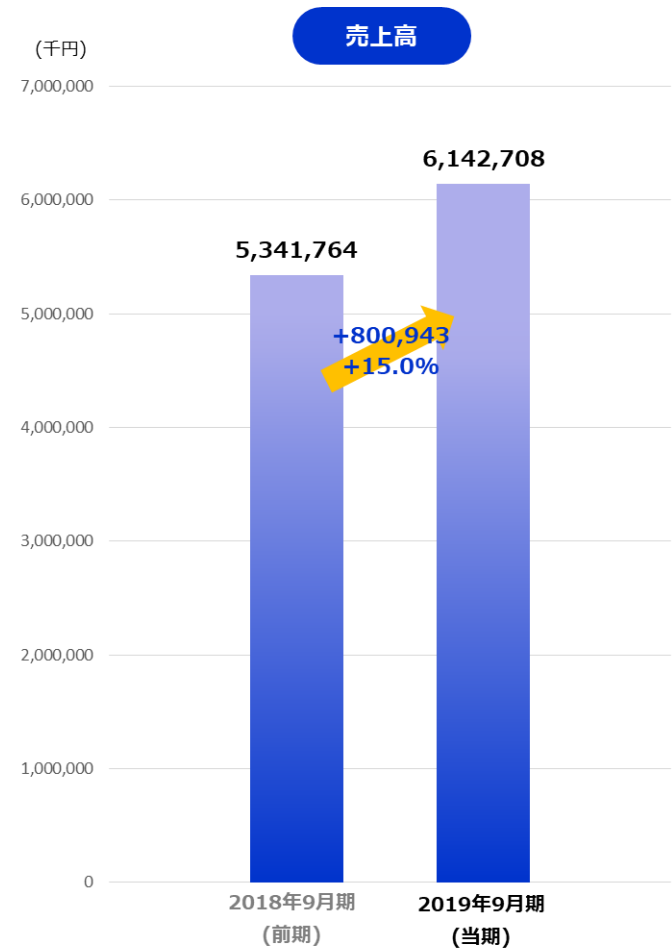
Point

前期受注の事業所が期初から売上増に貢献、また、今期の新規受注は8件となった。人件費、その他経費等の費用も売上高に見合った比率で計画どおりコントロールできたことで、増収・増益となった。



Point

今期10件の新規受注、内5件がホテル内レストランの運営受託で好調。食材販売事業の大型失注約4億円によりセグメント全体では減収。原価・人件費のきめ細かい管理、食材販売事業の固定費が計画以下となったことから損失が縮小



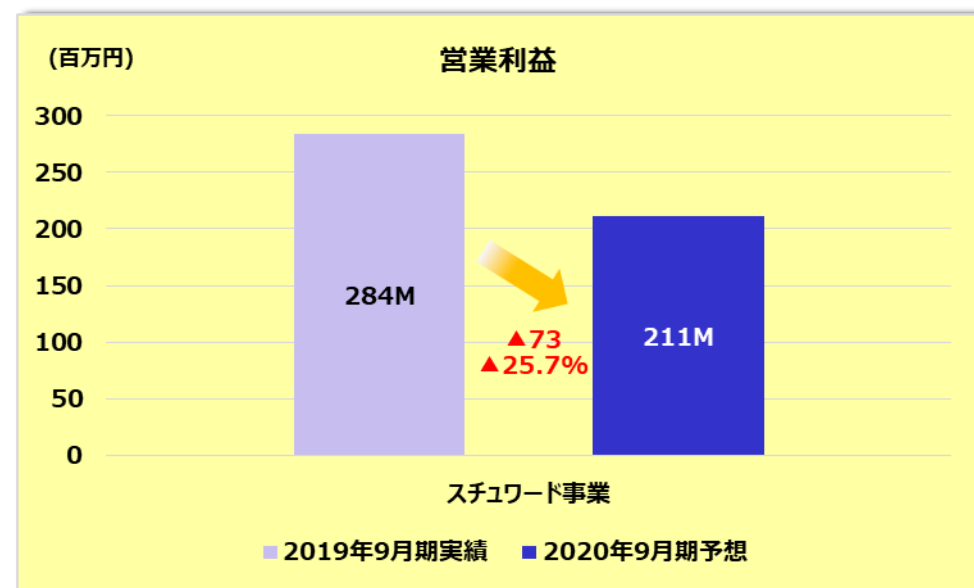
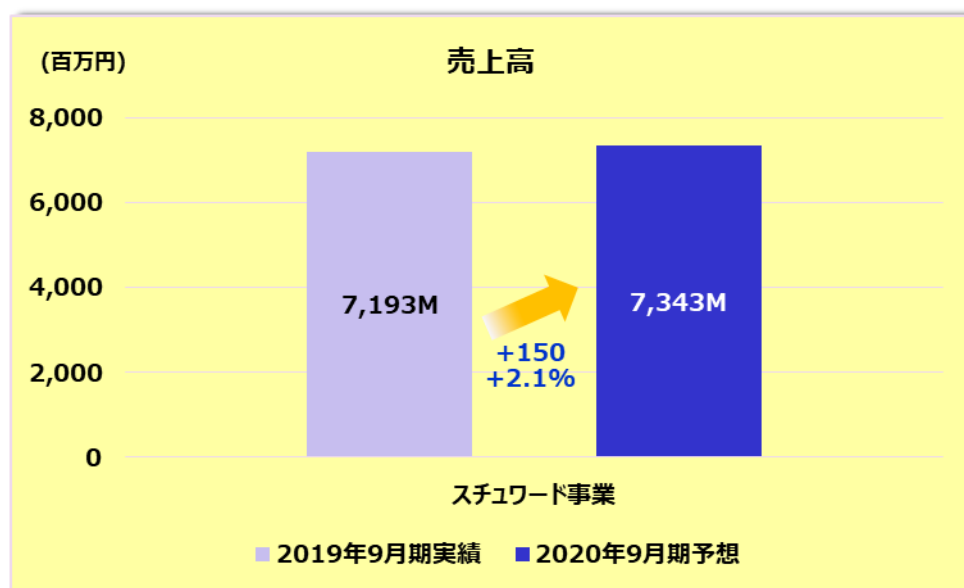
Point

金融営業部門堅調、法人営業部門の顧客の幅拡大、音響機器販売事業もセールスプロモーション強化により売上増、海外製品の割合が増加したことで粗利率向上。費用も適切に執行されたことで増収・増益となる。

2020年9月期予想及び 今後の取組み

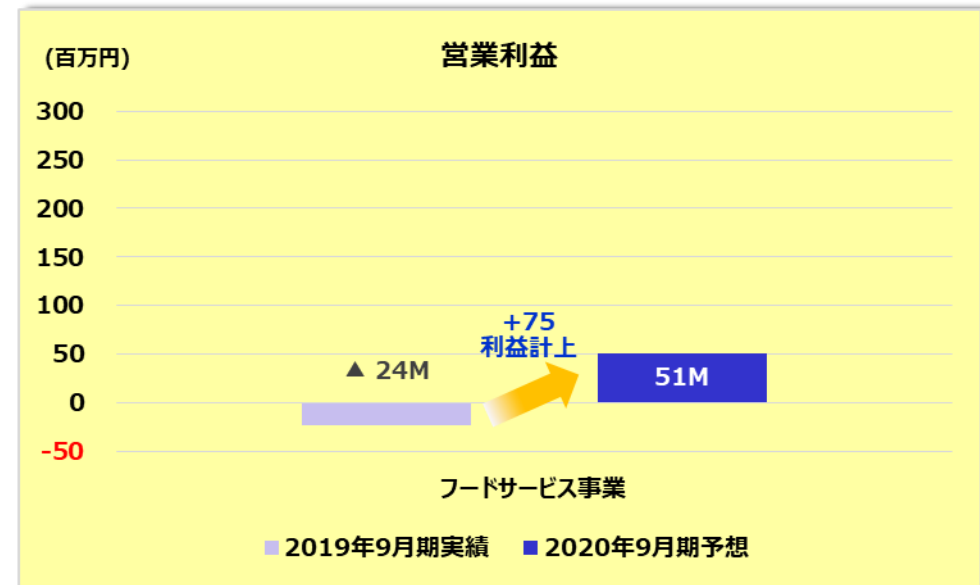
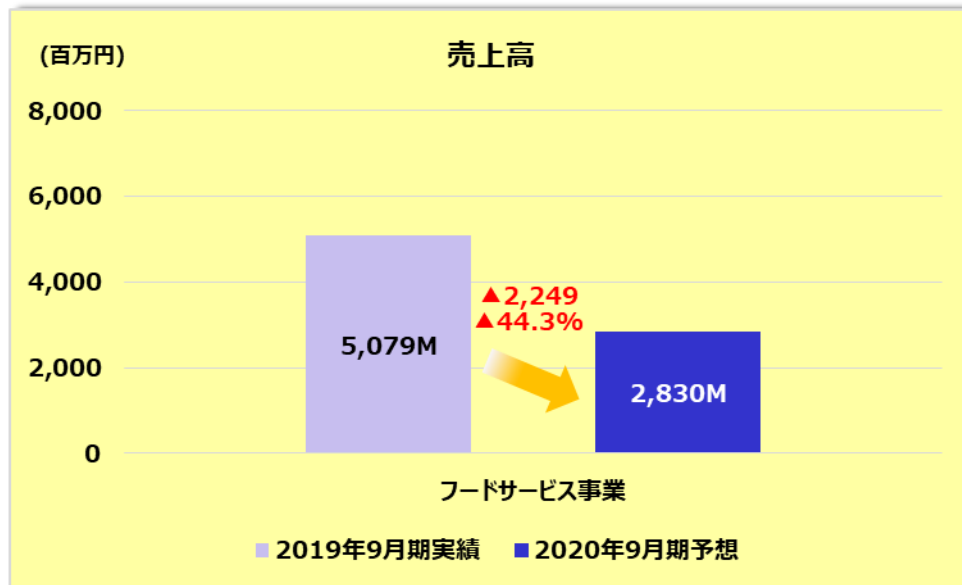
150百万円の新規受注を確実なものとし、73億円の売上計画を必達

- サービス品質向上へ向けての専門研修及び階層別研修のブラッシュアップ
- 適正な労務管理、ハラスメント防止、SNS等の情報管理徹底でコンプライアンスの向上
- 従業員の待遇向上へ向けての人事考課制度見直し及び採用拡大、離職率軽減施策への経営資源投入



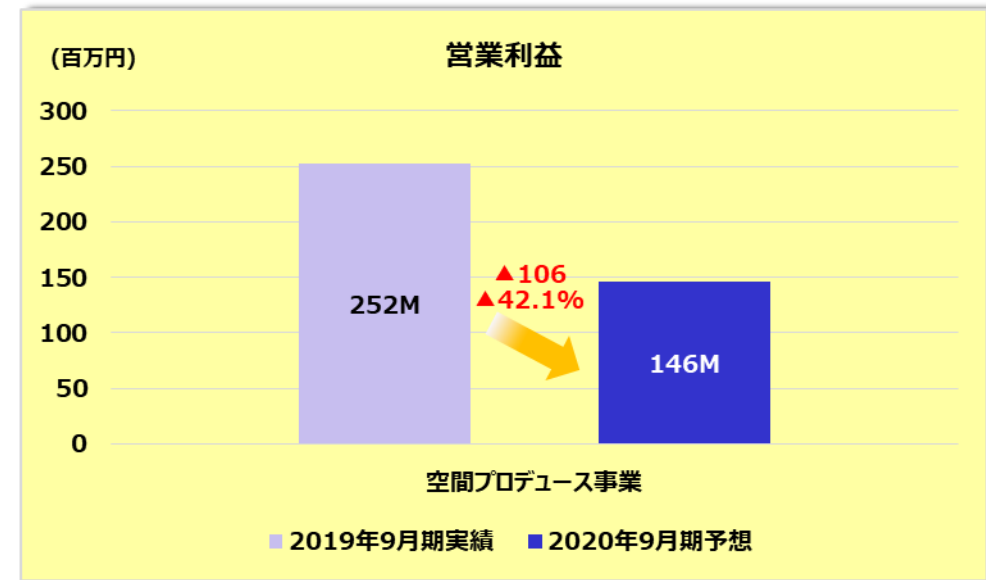
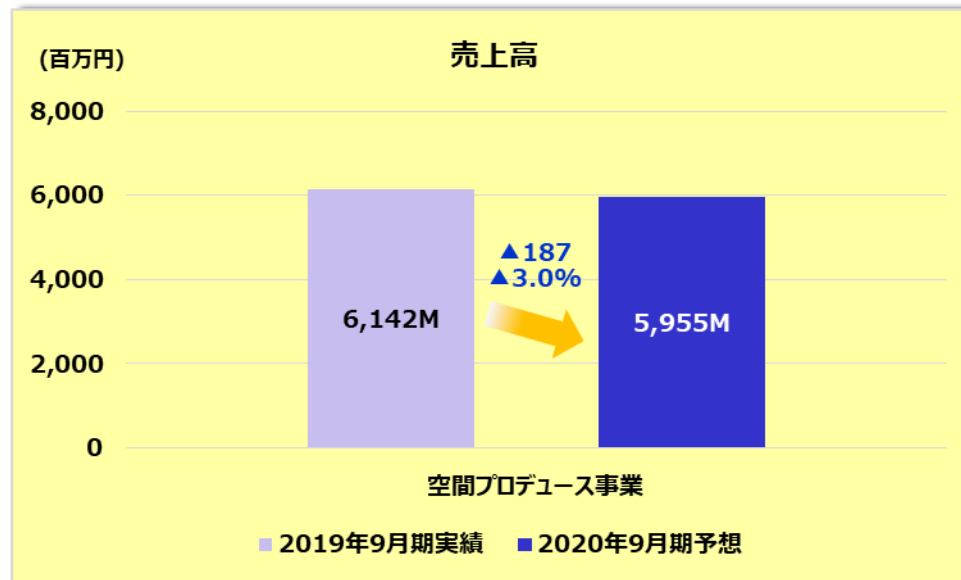
ヤマト食品(株)の株式譲渡により売上高は減少するものの損失計上から利益計上へ

- 調理研修の充実、調理コンクールの実施による技術の向上
- イベント・フェアの充実、ウェルネスメニューの刷新により顧客満足度の向上
- ホテル内朝食レストランの受託推進
- 新業態での外食事業への着手



売上は手堅く予想、利益については原価及び人件費のアップを折り込む

- 最適なソリューションの提供とビジネスパートナーとの協業の強化
- サービスセンターを含めた技術部門の品質向上
- 新たな海外ブランドの獲得へ向けての情報収集と具体的なアクション
- 顧客ニーズに応えるべく全国5ヶ所の営業所体制の充実



2020年9月期予想

(単位：百万円)	2019年9月期実績	2020年9月期予想	差異	備考
売上高	18,445	16,180	▲ 2,264	
営業費用	17,990	15,874	▲ 2,115	
営業利益	455	306	▲ 149	
経常利益	445	311	▲ 133	

売上高	2019年9月期実績	2020年9月期予想	差異
スチュワード事業	7,193	7,343	150
フードサービス事業	5,079	2,830	▲ 2,249
空間プロデュース事業	6,142	5,955	▲ 187

営業利益	2019年9月期実績	2020年9月期予想	差異
スチュワード事業	284	211	▲ 73
フードサービス事業	▲ 24	51	75
空間プロデュース事業	252	146	▲ 106

 Point

売上高については、概ねヤマト食品(株)の売上分が減少。
利益については、フードサービス事業が利益計上となるものの、スチュワード事業においては人件費のアップ、空間プロデュース事業においては、原価及び人件費のアップを予想し、全体では、確実に達成できる利益計画とした。

本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス グループ経営管理室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp